

授業概要

領域「表現」のねらいで示された「創造性」を豊かに育むためには、子どもの表現と創造性の本質を理解したうえで、子どもに多くの楽しい身体表現の機会を保障することが重要である。本授業では、子どもの豊かなイメージと、子どもの表現したい気持ちを引き出すごっこ遊び、劇遊びを中心に扱う。まず、昔話や絵本など、物語の世界で空想を広げ、身体を動かす経験を重ねながら保育者として必要な表現力を養う。次にその経験を踏まえて、子どもの発達に合わせた遊びや活動を考案し、子どもの創造性を育む指導案の立案ができるよう指導する。

授業計画

G：グループワーク、D：ディスカッション

第1回	オリエンテーション、創造性とは何か①（G・D）【遊び】「反対ポーズ」「オノマトペで遊ぼう」
第2回	創造性を育む遊び① まねっこ遊びから即興的な表現へ【遊び】「らかんさん」様々なまねっこ
第3回	創造性とは何か②（G・D）【演習】二つの「おはなしリレー」を比較しよう
第4回	創造性を育む遊び② 想像を言葉と動きで表現する【遊び】「私の家を案内します」（G・D）
第5回	創造性を育む遊び③ 自然の世界を表現する【活動】科学絵本をもとにしたごっこ遊び（G）
第6回	指導案の作成①（前回授業までの遊びや活動のなかから選んで作成する）（G）
第7回	絵本から発想するごっこ遊び①～活動の展開の手順～【活動】ごっこ遊び①
第8回	絵本から発想するごっこ遊び②～子どもの発想を集めよう～【活動】ごっこ遊び②
第9回	指導案の作成② ごっこ遊びの手順（まとめ） 【演習】ごっこ遊びの指導案の作成
第10回	劇表現①子どもの発想を生かした脚本【演習】ごっこ遊びをもとにした脚本作成
第11回	劇表現②台詞と身体表現、立ち位置、舞台美術、演出【活動】脚本読み合わせ（G）
第12回	劇表現③発表会を楽しく主体的な活動にするために【活動】身体表現を工夫した演技（G）
第13回	劇表現④劇音楽と身体表現 【活動】リハーサル（G）
第14回	発表会／講評／相互評価（G・D） ミニレポート「ごっこ遊びと劇遊びの実践」
第15回	まとめ 【演習】「創造性を育む表現遊びとは？」レポートの作成
第16回	筆記試験

到達目標

- ・即興的な身体表現と創造性の関係について理解できる。
- ・身体表現を伴う遊びや活動の特徴を理解し説明できる。
- ・ごっこ遊び、劇遊びなど。子どもの身体表現を促す活動を立案できる。
- ・子どもの主体性を引き出す過程重視の内容で「劇遊び」を立案できる。

履修上の注意

- ・着用するもの：体操着（名前ゼッケンつき）、上靴か滑り止めつきの靴下 ※その他初回授業で指示する。
- ・持参するもの：ノート、筆記具、配布プリントを保管するファイル
- ・保育者に必要な表現力を身につけるため、特別な事情がない限り見学は不可とする。（事情がある場合は事前に相談する。）
- ・遅刻は20分以内とし、遅刻3回で欠席1回とする。

予習・復習

予習：前回のノートと資料に目を通しておく。

復習：授業で行った遊びや活動について、まとめておく。

評価方法

- ・レポート・課題（指導案、レポート）：50%、
- ・発表グループ発表等：30%、
- ・授業参加度（活動への積極性、グループへの貢献度、ノート）：20%

テキスト

- ・教科書名：授業時、プリントを配布する。
- ・著者名：
- ・出版社名：
- ・出版年（ISBN）：